

日本看護系大学協議会 災害支援対策委員会
被災状況調査報告（2024年度）



一般社団法人日本看護系大学協議会
災害支援対策委員会

目 次

はじめに	2
1. 2024年8月8日16時43分頃に発生した日向灘の地震による被災状況調査	2
2. 2024年8月台風10号による被災状況調査	3
【関西・近畿ブロック】	3
【九州・沖縄ブロック】	4
【中国・四国ブロック（四国ブロックのみ）】	6
【中国・四国ブロック（中国ブロックのみ）】	6

はじめに

本報告書では、2024 年度に発災した地震の被災状況調査の結果を記載しています。2024 年度に実施した調査は 2 件にとどまりました。以下に、調査結果を示します。

1. 2024 年 8 月 8 日 16 時 43 分頃に発生した日向灘の地震による被災状況調査

この地震（日向灘地震）は、日向灘における陸のプレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震であり、発震機構（セントロイド・モーメント・テンソル：CMT 解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型となっています¹⁾。震源地は、南海トラフ巨大地震の想定震源域内に位置しており、本地震の発生により、同域内で新たな大規模地震が発生する可能性が相対的に高まったと評価されています¹⁾。2022 年時点の長期評価では、日向灘における M7.0～7.5 程度の地震（いわゆる「日向灘のひとまわり小さい地震」）の 30 年以内の発生確率は 26%以上とされ、Ⅲランクと評価されていました。同地域では 1931 年に M7.1、1961 年に M7.0 の地震が発生しています¹⁾。

本調査の対象地域は九州・沖縄ブロックであり、具体的な調査方法等は以下の通りです。

I. 調査方法

1. 対象：2024 年度災害連携教員 九州・沖縄ブロック 34 校
2. データ収集方法：Google フォームを用いた Web 調査
3. 期間：2024 年 9 月 25 日（水）～2024 年 10 月 9 日（水）

II. 結果

1. 回答数：15 校（回収率 44.1%）

ブロック	回答校数	内訳
九州・沖縄ブロック	15 校	福岡県 7 校、佐賀県 0 校、長崎県 1 校、熊本県 2 校、大分県 0 校、宮崎県 1 校、鹿児島県 2 校、沖縄県 2 校

2. 「2024 年 8 月 8 日 16 時 43 分頃に発生した日向灘の地震」による被害について

被害の有無	学校数（%）
被害がなかった	14 校（93.3%）
被害があった	1 校（6.7%）

3. 被害の内容

設問項目	被害・影響状況
建物への被害	・建物の接合部のズレ、壁や天井の一部の剥落（附属病院） ・ヘリポートの一部にひび割れ（附属病院） ・エアコンの水漏れや、壁や天井の一部の剥落
電気等（ライフライン）の被害	附属病院の停電が数分、ガス停止 1 時間程度

2. 2024年8月台風10号による被災状況調査

8月22日にマリアナ諸島で発生した台風第10号（国際名：Shanshan、サンサン）は、日本付近で動きが遅くなり、27日には非常に強い勢力となって奄美地方に接近しました²⁾。その後、進路を北に変え、非常に強い勢力を保ったまま九州南部に接近し、29日8時頃に鹿児島県薩摩川内市付近へ強い勢力で上陸しました^{2,3)}。上陸後は速度を落としながら勢力を弱め、九州北部地方や四国地方を通過して東海道沖へ進みました。台風は9月1日12時に熱帯低気圧へと変わり、2日3時まで不明瞭となりました²⁾。

動きの遅い台風に加え、暖かく湿った空気の影響が続いたため、西日本から東日本の太平洋側を中心に記録的な大雨となり、複数の観測地点で72時間降水量が観測史上1位の値を更新しました^{2,3)}。また、27日からの総雨量は東海地方や九州南部で900mmを超える地点もあり、平年8月の月降水量の2倍以上となった地域もありました^{2,3)}。さらに、28日から31日にかけては鹿児島県、宮崎県、大分県、徳島県、香川県、兵庫県および三重県で線状降水帯が発生し、これら的大雨により西日本から東日本にかけて土砂災害、河川の増水・氾濫、低地の浸水による被害が生じました^{2,3)}。

台風が非常に強い勢力で九州に接近した影響で、27日から29日にかけて鹿児島県では最大風速30m/秒を超える猛烈な風が観測され、九州の複数の観測地点において8月の最大風速が観測史上1位となりました^{2,3)}。28日には、鹿児島県（奄美地方を除く）の市町村に暴風、波浪、高潮の特別警報を公表しました²⁾。

また、この期間は西日本から東日本にかけて大気の状態が非常に不安定であったため、発達した積乱雲により突風の被害が発生した所がありました。特に宮崎県では、28日から29日にかけて複数の市町で竜巻とみられる突風の被害が確認されました^{2,3)}。

【関西・近畿ブロック】

I. 調査方法

1. 対象：2024年度災害連携教員 関西・近畿ブロック 55校
2. データ収集方法：Googleフォームを用いたWeb調査
3. 期間：2024年9月18日（水）～2024年10月2日（水）

II. 結果

1. 回答数：32校（回収率58.2%）

ブロック	回答校数	内訳
関西・近畿ブロック	32校	三重県2校、滋賀県0校、京都府4校、大阪府13校、兵庫県10校、奈良県2校、和歌山県1校

2. 2024年8月台風10号による被害について

被害の有無	学校数（%）
被害がなかった	30校（93.75%）
被害があった	2校（6.25%）

3. 被害の内容

設問項目	被害・影響状況
授業・実習の継続	【授業関連】 ・朝から自宅学習に切り替え 【実習関連】 ・大雨警報が出て実習施設周辺の冠水がひどく午前中で実習を終了 ・朝から警報が発令されていたので実習を中止 ・分娩介助実習の中断
学生・教職員の登下校への影響	【実習関連】 ・助産学実習の学生が、大雨洪水土砂浸水警報が発令され公共交通機関が休止し、一時帰宅困難 ・保健師実習中の学生は、公共交通機関が動いていたため各自帰宅 【帰宅困難】 ・電車がストップし帰宅困難 ・家族・保護者のお迎え ・公共交通機関の復旧を実習施設で待ち、帰宅

4. その他

- ・8月30日～9月1日まで学生の学内立ち入り禁止を8月29日に決定

【九州・沖縄ブロック】

I. 調査方法

1. 対象：2024年度災害連携教員 九州・沖縄ブロック 34校
2. データ収集方法：Googleフォームを用いたWeb調査
3. 期間：2024年9月25日（水）～2024年10月9日（水）

II. 結果

1. 回答数：14校（回収率41.2%）

ブロック	回答校数	内訳
九州・沖縄ブロック	14校	福岡県6校、佐賀県0校、長崎県1校、熊本県2校、大分県0校、宮崎県1校、鹿児島県2校、沖縄県2校

2. 2024年8月台風10号による被害について

被害の有無	学校数 (%)
被害がなかった	10校 (71.4%)
被害があった	4校 (28.6%)

3. 被害の内容

設問項目	被害・影響状況
建物への被害	<p>【建物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンガが剥がれ壁が落下 ・校舎旧棟の外壁クラック <p>【内装・室内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドアや窓の隙間からの雨の吹き込みによる水たまりが建物内に複数箇所あり <p>【水の侵入・漏水】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨漏り ・空調の室外機が故障
電気等（ライフライン）の被害	<ul style="list-style-type: none"> ・停電に伴うインターネット環境の一時不通 ・半分程度の教室で空調が使用不可 ・断続的に停電が継続
授業・実習の継続	<p>【授業関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生および教職員が登校できないため休講 ・集中講義をリモートで実施 ・8月27日はオンライン対応 ・8月28日と29日は休講 <p>【大学施設利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学施設の利用は禁止 <p>【実習関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月28日と29日は実習中止 ・実習先が避難者受入れをする関係上、もしも休講となっても実習継続は困難 ・8月27日は学生の居住地や実習施設の受入れ状況に併せて早退等の対応
学生・教職員の登下校への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関の運休
その他、入学、卒業、大学の行事、学生、教育・研究、教職員に対する影響	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や試験の日程などを延期して調整

【中国・四国ブロック（四国ブロックのみ）】

I. 調査方法

1. 対象：2024年度災害連携教員 中国・四国ブロック（四国のみ）11校
2. データ収集方法：Googleフォームを用いたWeb調査
3. 期間：2024年9月26日（木）～2024年10月11日（金）

II. 結果

1. 回答数：8校（回収率72.7%）

ブロック	回答校数	内訳
中国・四国ブロック （四国ブロックのみ）	8校	徳島県1校、香川県2校、愛媛県3校、高知県2校

2. 2024年8月台風10号による被害について

被害の有無	学校数（%）
被害がなかった	6校（75%）
被害があった	2校（25%）

3. 被害の内容

設問項目	被害・影響状況
授業・実習の継続	<ul style="list-style-type: none">・前日に休校が決定したため授業が中止・8/29午後と8/30終日を休講（自宅学習）・大学が休校処置となったため実習も中止

【中国・四国ブロック（中国ブロックのみ）】

I. 調査方法

1. 対象：2024年度災害連携教員 中国・四国ブロック（中国ブロックのみ）19校
2. データ収集方法：Googleスプレッドシートを用いたWeb調査
3. 期間：2024年8月31日（土）～2024年10月7日（月）

II. 結果

1. 回答数：16校（回収率84.2%）

ブロック	回答校数	内訳
中国・四国ブロック （中国ブロックのみ）	16校	鳥取県2校、島根県2校、岡山県4校、広島県7校、山口県1校

2. 2024年8月台風10号による被害について

被害の有無	学校数 (%)
被害がなかった	8校 (50%)
被害があった	8校 (50%)

3. 被害があった大学の状況

設問項目	被害・影響状況
授業・実習の継続	<p>【予防的判断】</p> <ul style="list-style-type: none">・悪天候が予測されたことから、一部の実習を事前に中止 <p>【実習関連】</p> <ul style="list-style-type: none">・29日(木)の実習時間を一部で短縮・8月30日の実習を中止とした施設が複数有り・実習時間を調整 <p>【オンライン化】</p> <ul style="list-style-type: none">・8月30日(金)に実施予定の実習オリエンテーションをオンラインで実施・8月30日(金)の学内カンファレンスの一部をオンラインに変更・8月30日(金)の実習は学内実習(オンライン)等に変更
その他、入学、卒業、大学の行事、学生、教育・研究、教職員に対する影響	<p>【大学】</p> <ul style="list-style-type: none">・登校禁止・8月30日(金)は大学臨時休業 <p>【各種イベント】</p> <ul style="list-style-type: none">・サマープログラムがオンラインへ変更(30日のみ)・8月31日(土)の模試の日時の変更・大学見学会の中止など <p>【入試・懇談会】</p> <ul style="list-style-type: none">・助産学専攻科の特別入試は通常どおり実施・8月31日(土)・9月1日(日)は本学会場にて保証人懇談会であったが両日とも中止、今後Zoomなどで対応

4. その他

- ・避難所の開設はあったが、大事には至らなかった

引用

- 1) 地震調査研究推進本部地震調査委員会. (2024). 2024年8月8日 日向灘の地震の評価 (令和6年8月9日公表). 地震調査研究推進本部.
https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2024/20240808_hyuganada.pdf

2) 気象庁. (2024). 令和6年台風第10号による大雨、暴風及び突風(速報)(令和6年8月27日～9月1日). 気象庁.

<https://www.data.jma.go.jp/stats/data/bosai/report/2024/20241008/20241008.html>

3) 国土交通省. (2024). 令和6年台風10号による被害状況等について(第17報). 国土交通省. <https://www.mlit.go.jp/common/001762437.pdf>